

令和7年9月26日

北海道運輸局自動車交通部

貸切バスの新たな運賃・料金を公示します ～バス運転者の賃金引上げ原資を確保～

貸切バス運転者の平均給与額は全産業平均給与額を下回る状況が続いているところですが、運転者の担い手不足の解消には、全産業平均給与額と同等の給与水準まで引き上げることが不可欠です。

そこで、貸切バス運転者の給与の向上や、貸切バス業界の新型コロナ後の需要回復状況等に対応することを目的として、**本日、新たな貸切バスの運賃・料金を公示しました。**

1. 運賃・料金見直しの概要

北海道運輸局で公示している1キロ・1時間当たりの基準額を変更いたしました。現行額と比較し、**約8～10%の増加**となっております。

2. 新運賃・料金公示額

北海道運輸局管内における、新運賃・料金公示額と現在の運賃・料金公示額の比較は別紙のとおりです。

公示内容の詳細は北海道運輸局のホームページからご確認ください。

(北海道運輸局 HP)

トップページ > 分野別情報 自動車 > 自動車に関すること > バス事業について

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/jidousya/bus/index.html>

3. 今後のスケジュール

9月26日 北海道運輸局をはじめ全国の運輸局で新基準額を公示

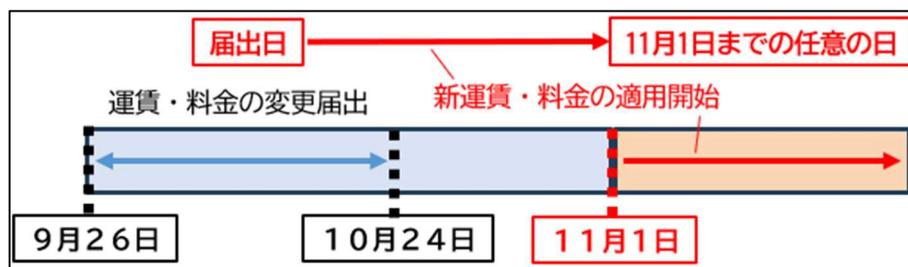
9月26日～10月24日 貸切バス事業者による運賃・料金の変更届出 ※1

11月1日 **全貸切バス事業者が新運賃・料金の適用を開始** ※2

※1 届出日以降、11月1日までの間であれば任意の日から適用することが可能

※2 経過措置として、新たな運賃・料金の実施日までに運送の引受を合意した場合には、契約の締結が実施日以降であっても、従前の運賃・料金による額を適用することができる

(この場合、貸切バス事業者は運送引受書に従前の運賃・料金を適用した旨を記載)



<お問い合わせ先>
自動車交通部 旅客第一課 田原、平田
TEL: (011)290-2741

新 一般貸切旅客自動車運送事業の変更命令の検討を必要としない運賃・料金の基準額

(単位:円)

		北 海 道	
		基 準 額	
		キロ制運賃 (1km当たり)	時間制運賃 (1時間当たり)
運賃	大型車	150	6,080
	中型車	130	5,130
	小型車	110	4,500
	通勤用車	100	4,010
料金	交替運転者配置料金	10	2,410
	深夜早朝運行料金	時間制運賃及び交替運転者配置料金(時間制料金)の2割	
	特殊車両割増料金	設備や購入価格等を勘案した割増率	

旧 一般貸切旅客自動車運送事業の変更命令の審査を必要としない運賃・料金の額の範囲

(単位:円)

		北 海 道	
		基 準 額	
		キロ制運賃 (1km当たり)	時間制運賃 (1時間当たり)
運賃	大型車	140	5,570
	中型車	120	4,700
	小型車	100	4,110
	通勤用車	90	3,660
料金	交替運転者配置料金	10	2,200
	深夜早朝運行料金	時間制運賃及び交替運転者配置料金(時間制料金)の2割	
	特殊車両割増料金	設備や購入価格等を勘案した割増率	

公示運賃見直し（運賃改定）に至った経緯

- 貸切バス運転者の平均給与額は全産業平均(※)を下回る状態が続いている。
※日本標準産業分類に基づく16大産業（建設業、製造業、運輸業、小売業、不動産業等）の平均年収額
 - 現在の運賃額はR5.8に公示されたものであり、貸切バス業界の現状（新型コロナ後の需要回復、R6.4から適用開始となった新改善基準告示等）を考慮した運賃額となっていない。
※R6.3に通勤区分新設に伴う公示改正はあり
- ↓
- 全産業平均給与額を基に算出した人件費を新たな公示運賃に反映させることで、**他産業と同等の給与水準**となることが見込めるため、**運転者不足解消**の効果が期待できる。
 - 直近年度（R6）の実績を基に算定した公示運賃に改定することで、**貸切バス業界の最新状況に対応した運賃（営業収益）を確保**することができる。

改定内容

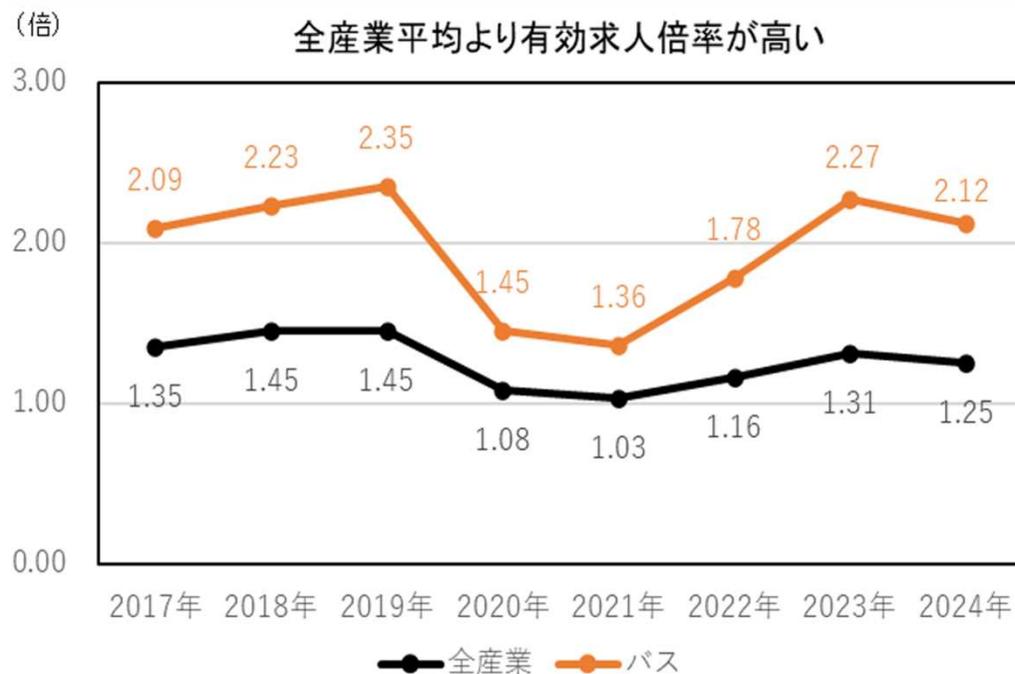
- 国で公示している基準額を全国一律で変更
 ただし、額は運輸局ブロック毎に異なる
- 現行額と比較し、**約8～10%UP**
※他運輸局ブロックもほぼ同様の上昇率
- 運賃・料金の計算方法（考え方）の変更はなし
- 11月1日までに全貸切バス事業者が新運賃・料金の適用開始
- 経過措置として、新運賃実施日までに引受を合意した運送は、契約締結が実施日以降であっても、旧運賃の適用が可能

◇北海道運輸局公示（基準額）

	北海道			
	現行		変更後	
	距離	時間	距離	時間
大型	140	5,570	150	6,080
中型	120	4,700	130	5,130
小型	100	4,110	110	4,500
通勤区分	90	3,660	100	4,010

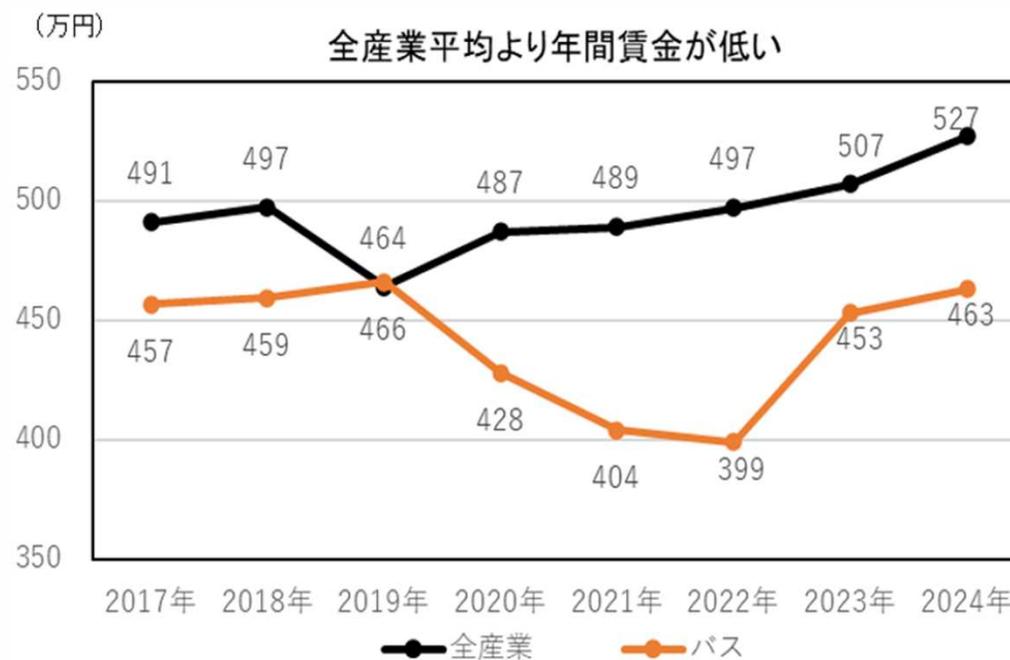
全産業とバス事業の有効求人倍率の比較（全国）

全産業平均より有効求人倍率が高い



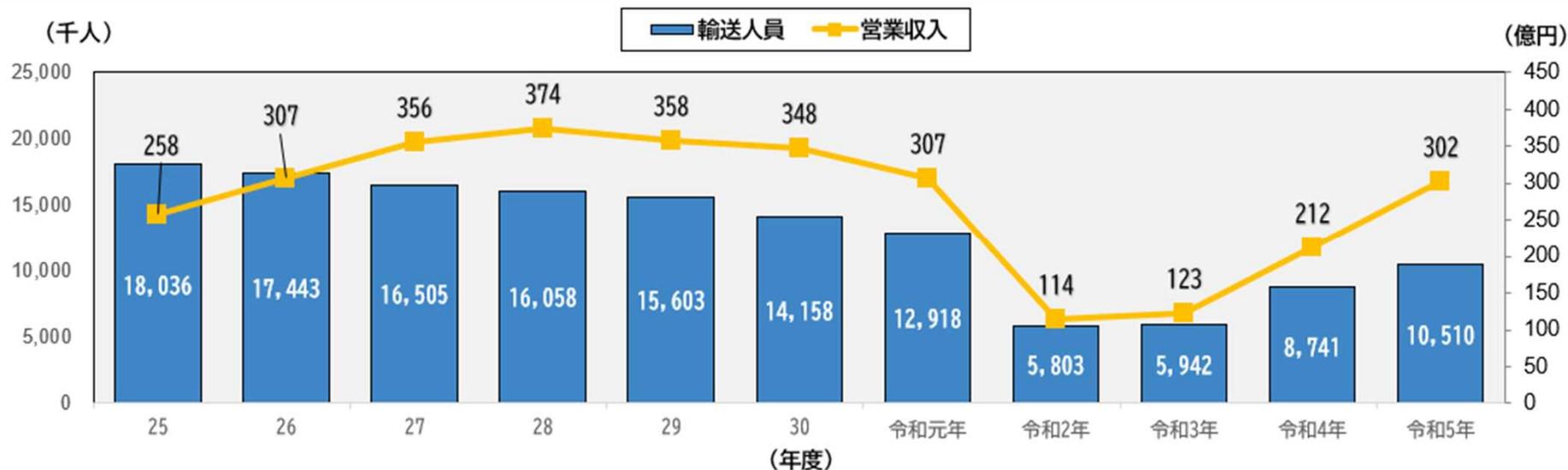
全産業とバス事業の年間賃金の比較（全国）

全産業平均より年間賃金が高い



(注) 国土交通省物流・自動車局資料による

輸送人員・営業収入の推移（北海道内）



事業者数・車両数（令和7年3月末時点）（北海道内）

支局別	事業者数	車両数 (両)				
		大型	中型	小型	コミューター	合計
札幌	122	1,029	178	330	42	1,579
函館	11	84	15	32	1	132
旭川	21	223	30	59	1	313
室蘭	19	182	40	56	4	282
釧路	7	50	20	14	0	84
帯広	11	98	36	20	0	154
北見	15	123	24	28	1	176
合計	206	1,789	343	539	49	2,720

(注) 北海道運輸局資料による